

## 【別紙様式 3】

## 再評価実施事業調書

番号	1	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		国道 409 号 茂原一宮道路		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成 12 年度	用地着手年度	平成 13 年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成 14 年度 令和 9 年度	再評価の理由	再々評価		
費用便益比 B/C	1.4 (5.6)	総費用	182 億円 (44 億円)	総便益	261 億円 (245 億円)	基準年	令和 元年度	供用開始 年度	令和 9 年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

## 【事業概要】

国道 409 号茂原一宮道路を含む地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」は、「館山鴨川道路」や「鴨川大原道路」とともに、房総半島外房地域の観光拠点等の連絡性・周遊性を強化するため、さらには、観光・物流などの産業活動を支援する道路として、外房地域の骨格的な役割を果たす道路である。

国道 409 号茂原一宮道路は、圏央道の茂原長南 IC と接続する長南町千田から茂原市三ヶ谷に至る約 7.2km を整備区間としている。平成 25 年の圏央道の開通にあわせ、国道 409 号から茂原長南 IC まで約 0.7km の供用を開始しており、現在、残る区間の整備を進めているところである。

- ・総事業費：152 億円
- ・事業延長：L=7.2km
- ・事業期間：平成 12 年度～令和 9 年度

## 【事業の進捗状況】（令和元年度末見込み）

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	152	104	48	68

## 【社会経済情勢等】

## 1. 並行する現道の状況について

- ①混雑度が 1.25 を超えており、旅行速度も県平均 (28.9km/h) を下回る区間ある。また、上茂原交差点や(仮称)昭和橋北交差点が主要渋滞箇所特定されている。
- ②死傷事故率は 53.8 件/億台キロであり、県平均の 49.0 件/億台キロを上回っている。
- ③長生地域の東西を結ぶ主要な幹線道路であるが、練炭する家屋が道路に迫っており、緊急輸送道路として脆弱である。

## 2. 長生地域の観光入込状況について

平成 25 年の圏央道(東金・木更津間)の開通後、長生地域の観光入込客は増加しており、特に、一宮海水浴場や釣ヶ崎海岸を有する一宮町ではサーフィンを目的とした来客が増加傾向にある。釣ヶ崎海岸は、2020 年東京オリンピックのサーフィン会場であり、茂原一宮道路や圏央道(大栄・横芝間)の整備により、今後、ますますの観光客の増加が期待される。

## 3. 事業の投資効果

茂原一宮道路に交通が転換することにより、渋滞が緩和されるとともに、走行時間の短縮や走行経費の減少、交通事故の減少等の効果が期待される

## 【対応方針(案)】

継続

国道 409 号茂原一宮道路は、全体事業の費用便益(B/C)が 1.4 (残事業費 5.6) であり、事業の投資効果が見込まれる。

地域高規格道路として、アクアラインや圏央道の整備効果を広く外房地域に波及させる道路として不可欠であり、地域の期待が高い道路である。

整備効果として、交通の転換による走行時間短縮及び渋滞緩和、交通事故の減少、救急搬送時間の短縮による救命率の向上、観光施設へのアクセス向上、緊急輸送道路ネットワークの強化が期待される。供用目標を公表し、着実に事業を推進していることから、事業を継続し効果の早期発現を目指す。

【別紙様式 4】

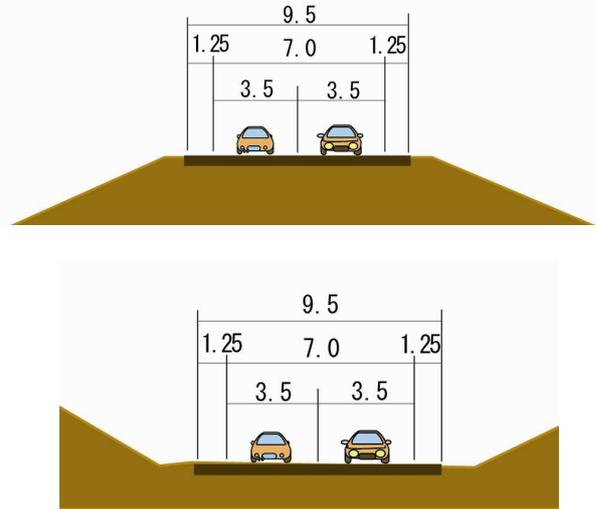
事業概要図

番号	1	事業名	国道道路改築	路線又は箇所名等	国道409号 茂原一宮道路
----	---	-----	--------	----------	------------------

位置図

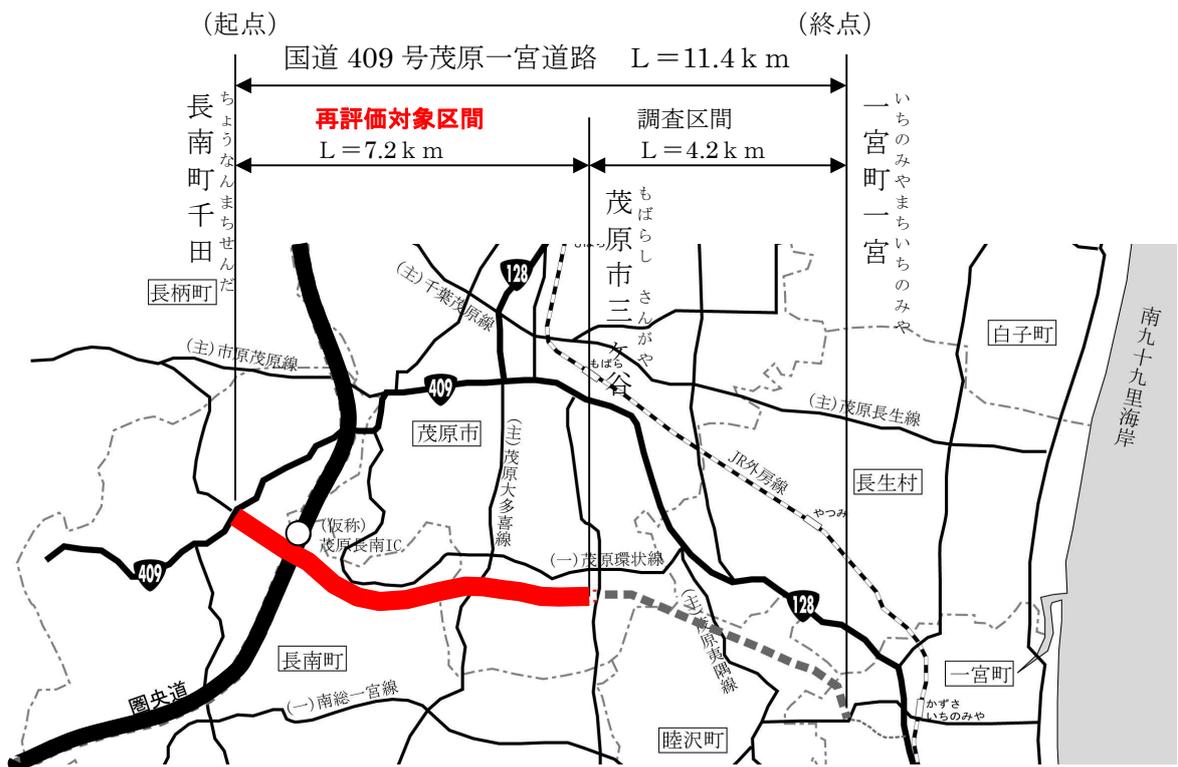


標準横断面図



(単位 : m)

平面図



【別紙様式5】

## 再々評価事業に関する調書

番 号	1	事 業 名	国道道路改築事業	路線又は箇所名等	国道 409 号 茂原一宮道路
事 業 化 年 度	平成 12 年度	用地着手年度	平成 13 年度	工事着手年度	平成 14 年度

**【再評価の概要】**

再評価実施年度 (基準年)	平成 26 年度	供用開始年度	令和 9 年度	対応方針	継続
B/C	1.3 (2.4)	総費用	147 億円 (67 億円)	総便益	196 億円 (161 億円)

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

再評価時の委員会の意見及び当時の状況  
継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況

	計 画	進捗状況(H26)	5年後の想定進捗状況
全体事業費	152 億円	68 億円 (45%)	109 億円 (72%)
うち用地・補償費	41 億円	21 億円 (51%)	29 億円 (71%)
うち工事費	111 億円	47 億円 (42%)	80 億円 (72%)

**【再々評価の概要】**

再評価実施年度 (基準年)	令和元年度	供用開始年度	令和 9 年度	対応方針	継続
B/C	1.4 (5.6)	総費用	182 億円 (44 億円)	総便益	261 億円 (245 億円)

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況(令和元年度)
全体事業費	152 億円	104 億円 (68%)
うち用地・補償費	41 億円	23 億円 (56%)
うち工事費	111 億円	81 億円 (73%)

再評価後の経過及び処理状況	平成 27 年 1 月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価 (継続が妥当である)
---------------	--